

平成22年度

## 事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日  
平成 22 年 4 月 8 日

事務事業名		放課後子どもプラン推進事業「放課後子ども教室」					区分		事務事業No.	32234115	
		政策体系上の位置付け					<input checked="" type="checkbox"/> 分野別主要事業	課内No.	115		
政策評価施策名	17	生涯学習・芸術文化活動の推進					<input type="checkbox"/> 未来プロジェクト事業	事務事業主管課			
政策体 系	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくり					<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会	
政策体 系	施策名	2	生涯学習・芸術文化活動の推進					<input type="checkbox"/> 合併建設設計画事業	所属課	文化生涯学習課 34	
	基本事業名	2	生涯学習機会の充実					<input type="checkbox"/> 新規事業	<input type="checkbox"/> 継続事業	課長名	杉山 文男
	財務会計上の位置付け					<input type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 補助事業	所属係	生涯学習係		
								事業期間	担当者名	大武 妙子	
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計					
	1	10	5	7	1	生涯学習推進事業					
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度のみ					
						<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し ( 20 年度 ~ )					
						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )					

## 【D】1. 事務事業の現状把握

□ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」を連携または一体化して行う国の補助事業。

桜川市では市立樺穂小学校の全児童を対象に実施している。

担当者の業務内容…事業計画・前期、後期の毎月第一木曜日及び第三土曜日の参加募集のチラシ作成配布・講師依頼

## (1) 事務事業の目的

①手段(21年度 実際に行った主な活動)	おもしろ理科先生・調理実習(ぎょうざ、巻き寿司、サンドイッチ)・絵てがみ・おりがみ・クレイクラフト・バルーンアート・たこづくり
②対象(誰、何を対象にしているのか)	樺穂小学校全児童
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	地域社会の中で放課後等に子どもが安心して活動できる場の確保を図るとともに次世代を担う児童の健全育成を支援する。
④結果(どんな結果に結び付けるのか)	放課後、子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所が確保されている

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位
ア 実施回数(木曜日)	回
イ 実施回数(土曜日)	回
ウ	
エ	
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
ア 全児童数	名
イ	
ウ	
⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位
ア 参加児童数	名
イ	
ウ	
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
ア 放課後に安心して過ごす居場所が確保されたと感じる児童の割合	%
イ	
ウ	

## (2) 指標値の推移

区分	単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (計画)	23年度 (目標)	期間限定 総投入量
⑤活動指標	ア 回				12	24		
	イ 回			3	12	3		
	ウ							
	エ							
⑥対象指標	ア 名	231	227	216	214			
	イ							
	ウ							
⑦成果指標	ア 名			328	328			
	イ							
	ウ							
⑧上位成果指標	ア %			100	100			
	イ							
	ウ							

## (3) 投入量(事業費)の推移

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	期間限定 総投入量
事 業 費 投 入 量	財 源 内 費	国庫支出金 千円		104	87	71	71
		県支出身 千円		104	87	71	71
		地方債 千円					
		その他 千円					
人 件 費	一般財源 千円				551	340	340
	事業費計 (A) 千円	0	0	208	725	482	482
	正規職員従事人数 人				2	2	2
	延べ業務時間 時間				72	90	90
トータルコスト(A)+(B) 千円	人件費計 (B) 千円	0	0	0	212	265	265
	トータルコスト(A)+(B) 千円	0	0	208	937	747	747

## (4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

平成19年度から総合的な放課後対策として「放課後子どもプラン」が文部科学省及び厚生労働省により創設された。桜川市では、樺穂小学校の全児童を対象に取り組んでいる。

で遊ぶ友達がないため、帰宅してもテレビを見たり、ゲームをしたりして過ごす子どもが増えた。異年齢の子どもと遊ぶ機会が減っている。

## (5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

子ども教室での活動は楽しいという児童が多く、保護者の支持も得ている。

事務事業名	放課後子どもプラン推進事業「放課後子ども教室」	事務事業No.	32234115	所属課	文化生涯学習課
-------	-------------------------	---------	----------	-----	---------

【See】2. 評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目					
目的妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつかず? 意図することが結果に結びついているか?)				
	子どもたちが地域の中で安心して健やかに育まれる環境づくりに結びついている。				<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?)				
	地域の様々な資質を有する多くの参画を得て、子どもたちに様々な体験・交流・学習活動の機会を与えるため必要である				<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?)				
	放課後対策事業のため対象小学校の児童のみを対象としていることは妥当である。				<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないか?)				
	習い事や塾などで子ども教室との日程が合わないこともある。				<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)				
有効性	児童が帰宅してからの過ごし方がテレビを見たり、ゲームをしたりという環境にもどってしまう				<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む))				
	他に手段がある <input type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など))				
効率性	体験活動や交流活動の実施にあたって講師の派遣等が必要である。				<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?)				
	子どもたちが安心・安全に過ごすためには安全管理員及び活動を計画するコーディネーターの削減の余地はない。 内容によっては、参加児童の保護者の方にボランティアで協力していただいている。				活動 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)				
	公平になっている。				<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(3)-1 改革改善策 安全管理員、コーディネーターの確保及びボランティアの確保	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成績</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>X</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>X</td> <td>X</td> <td>X</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成績	向上				維持		○	X	低下	X	X	X
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成績	向上																							
	維持		○	X																				
	低下	X	X	X																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

【Check】4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 A: 継続(現状維持) B: 継続(改革改善を行う)	確認欄 C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出 未
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項